



購讀料 廣告料 發行所 印刷所

購讀料 廣告料 發行所 印刷所 (Subscription and publication details)

非常時日本國民の覺悟

壽山良海

壽山良海師は、横濱市鶴見區生麥町眞言宗龍泉寺の住職におはし、多年布教傳道に奔走西走、眞に庶民の邊なきは世間周知の事である、去れば夙に師の徳識を欣慕し、特に知識階級の善男善女にして、その會下に參向する信徒甚だ多く、京濱細衣界に於ける稀有の善知識である。編者、幸にして忘年の交あり、律師の天空海闊な性格に隨喜し、親しく教を受くること茲に拾有五年、閉を得て師の坊を叩き久潤を謝す。

非常時に對する 一大決心

諸君、日本の國際的時局は一本の糸で大きな石をぶら下げたよりも、儉のんな有様であります。此時局に對して内田外相は全國を焦土にしても正義の爲めに戦ふと呼び、我松岡代表は世界から日本を磔刑にしても日本の正義を貫徹すると大獅子吼致しました。此時此際我等日本國民は男も女も如何なる決心を以て日常の生活を爲すべきでありませうか、その來らざるを待たず、待つあるを頼むで、ギヤングや、盜賊が外から押入らぬ前に我々は一大決心を以てそれに對す用意をすると思ふことは、目下の急務ではありませぬか。

非常時元寇の來襲

却て我國が外國の壓迫に依つて非常時日本を現しました事は開國以來、歴史の頁を繰つて見ますと、第一は彼の元寇の亂であります。蒙古百萬の大軍が山の如き舟をつらねて海を壓し九州の西端を襲

一心に啓て白す。八幡大士や、六十餘州の一切の神等に。今、日本國の天神地祇正法を以て國を治めし以來部類眷屬此の間に充滿し、草木、土地や、山川、雲澤や、水陸、虚空や、垂迹和光の所に非ざるは無く、各威を振ひ、各徳を現はし、他方の怨賊を研伏せしむべし。昔、女帝在り、名をば神功と曰ふ懐胎の母人、産月に相當りしも、他州の無量の怨敵を防がなが爲め、誓心決定し、勇猛心を起す之れに因つて國中一切の神祇、其の恩念を知り、皆悉く隨從せり。干珠を擲てば大海枯竭し、滿珠を擲てば海水盈滿し、無數の怨敵漂沈して餘す所なし。此の兩珠は俱に是れ如意、今現に王宮の正殿に在り。

非常時、日清、日露の兩役

次には日清、日露の二大戦争、これも、容易ならざる一大國難でありました。御承知の通り此時にも一國を培つたのであります。是又非常時に國威を發揚し、國光を四海に輝したものであります。此時に參謀總長兒玉源太郎將軍は毎朝陳營の裏に出て祈願を込められ、海神東郷大將は天佑と云ふ神の心を部下の心に焼きつけて、死んでも死ななれと云ふ一大決心を持せられました。

非常時現代の國難

次に現代の國難は愈々世界的と成りまして、世界の國々を擧げて我國の正義に向つて認識不足の刃を以て迎へんとしてゐます。隨つて全國民は

日本國民の一大信念

扱て是等國難が起りました時、我等日本國民の心の奥に世界にたぐひなき一大信念があつて、その信念の活動に依つて國難を打開し來つてゐることを認識するものであります。それは、何んであるかと申しますと、斃れて止まらずと云ふ信念であります。彼の古來支那の男子を代表せりと云はる諸葛孔明は古から我國の楠正成公に比較せらるる忠臣の模範であるとい等小兒の時から教へられたのであります。それ故に諸葛孔明が熱血を注いだ出師の表を讀んで泣かざるものは忠臣に非ずと迄云はれたものであります。その最後の結句に鞠躬盡力、死而後已と云ふて死ぬまではやるが、死んだらそれ迄と云ふてゐるのであります。同じやうでも、この止むと云ふ字は行に對する字で一時的にやめるのであるが今の己むと云ふ字は心からほんとうに己めてしまふのであります。よつて、孔明の心裡状態は死は萬事の終りと思つたかどうか？

斃れて止まぬ佛敎的精神

然るに、我々日本民族の代表者たる楠氏は力盡き矢折れ愈兄弟刺し合つて死ぬ時に七度人間に生れ變つて皇室の爲めに盡さんと申しておりました。又一世を指導してゐる軍神乃木將軍はその辭世にうつし世を神さりました大君のみあつたいては我はゆるとありまして決して、斃れて止むとか、死して後止むと云ふ様な幻滅の心持は見られないのであります。彼の廣瀬中佐も七生報國の一詩を残して閉塞隊の波に入りました。斯處で、私の講演の趣旨は諸葛孔明の如き支那四百餘州を代表してゐる者でも、死して後止む、何んと云ふへ弱い短い考でしょう、我等日本國民は古來死して止まらずであります。

東西飛行士の死顔

斯う云ふ死して止まらず、斃れて止まぬ佛敎の思想は日本古今の思想たる人は死ななと云ふ考へと結びつき融合してゐるに於て、欽明天皇の時に佛敎渡來以來、何時しか、日本國民の血と成り肉と成りまして謂ゆる潜在意識となり、第八阿賴耶識に薰入してゐるが、非常時日本の時には爆發して來るのであります。

信念に依つて得たる四萬三千票

これに就て面白い話を聞きました。西洋人が飛行機からおつちて死んだ顔と、日本國の飛行機が飛行機からおつちて死んだ顔とは大に顔つきが違ふさふでありました。彼等西洋人は念に念を入れて石橋を叩いて渡る様に飛行機を充分にしらべて乗る、其時にはその器械の力だけを頼みにして乗るから、一朝故障を生じておつちると、しまつた、萬事休すでクヤシイ、と齒を喰ひしびつて、鬼の面をしてゐるやうであります。日本人は器械の検査などは西洋人ほどに詳しく、精神でもよつと云ふ一大決心から敵の飛行機にぶつちかてゆくとの事、それで、落ちて死んだ死顔は、謂ゆる安心して微笑してゐるとの事でありました。之れも比較上のことでありました。やうが、日本人の缺點は死を輕ろんじて何に死んでもかまはぬ、やつけたと云ふことである、或る人から聞きかしたと、果してどうでせう。これ等も心の奥深く、斃れて止まぬ決心があればこそと思はれます。

金澤文庫

金澤文庫の活動 (續)

金澤文庫の分類記號に就いて (上つゞき)

(甲)	門外	緣山
	霜	安民窟藏
不出	西溪	
(乙)	門外	大檀林
	宿	
不出	圖書部	

二枚とも三寸に二寸位の薄鬼も角この千字文の文字を圖書の分類記號に使用したといふ事は、近く江戸時代までも宿の字がある、何れも千字文の初めの方にある、辰宿列張の宿字、露結爲霜の霜字とつたものである。多分二枚とも三縁山増上寺で使用したものであまいか、この點は何れ詳細に調査した上で、改めて報告することにす。

(ハ) 金澤文庫の管理に就いて (中)

次からの消息も、阿賀が文庫主任であることが推察出来る

昨日借預候義之千字文又可預候愚見之志候間如此所望仕候恐々謹言

七月三日 時通

明忍御房

時通は北條系圖によると、大佛時房の孫で、續古今の作者である時直の次男で、歌人といふことになつてゐる。消息の文字も中立派である。消息の意味は極めて簡単に昨日御借りした義之の千字文を、今一度貸して貰ひたいといふことを明忍に申込んだものである。矢張文庫本の借用方を申込んだものであらう。

晋の王羲之の手跡が、手本として盛に使用されたのは、寧楽時代であつたらしい、それが萬葉集の假名の上に現はれてゐる事が面白い。當時「能書」の事を「てし」と言つたが、萬葉集では「羲之」といふ字をあて、「てし」と讀ませてゐる。萬葉集の卷三及卷四

次は法性寺流の手跡であるが、之は鎌倉時代には全盛を極めて居たものらしい、法性寺は關白藤原忠通の事、藤原行成の世尊寺流を學んで、一派を立てた人で、當時廣く天下に流布した書風である。

(前略) 抑一日令申候し法性寺の御手跡其後御たづね候の御手跡も御返々心もななく存候也御しんのものがほしく候間かやうに申候御たづね候へきかたや候らん御たづね候い、返々畏入候しんのも候へは又先いかにも候へ給りたく候此にも如法事期見參時恐々謹言

六月十三日 道智

明忍御坊御じ者

道智は關東評定傳によると同じ法名を持つてゐるもの二人ある、一人は丹波守藤原頼景で、他は隱岐守藤原行氏である。評定傳によつて大略の履歴を延べると、

○丹波守藤原頼景(安達氏) 秋田城介義景の男 正喜元年三月廿九日任丹波守 弘長三年六月為在京上洛 同十二月出家法名道智 文永九年二月坐事被召下 關東所帶二ヶ所收公 正應五年正月九日享年六十四

○隱岐守藤原行氏(二階堂氏) 正嘉二年正月十三日蒙使宣旨左衛門尉 弘長元年七月廿一日任隱岐守 同三年十一月出家法名道智 文永八年六月七日享年五十

といふ事になつてゐる。そして二人共に、正元元年から弘長三年にかけて、同じ引付衆に列なつてゐたのであるから、引用文書の道智は、何れ道智か、判斷に苦む所であるが、行氏の方は文永八年六十といふ事になつてゐるから、恐らくその頃は貞顯がまだ生れない頃か、生れても極めて幼少の頃であらう。そして現在實時顯時代時代の文書は、餘り残されてゐない所を見ると、或はこの道智は前者即安達頼景の法名ではあるまいか。然し何れにしても、此所では差支ない、唯當時の立派な武士の一人であつたといふ事だけが明かになればよい。

又小野道風の手跡も珍重されてゐる事勿論で、之に關しても次の様な消息がある。

(前略) 又靜觀房道風之手跡を長く借て候了達御房に返つて今に、若未進候は仰候て取可給候若し道御房御方に候は、又下給て靜觀房方へ其子細申候也(後略)

東沼村之内境組 高六百三拾八斗七升五合

一田畑反別八拾貳町壹反貳拾拾五步

「坊つちゃん」の後日物語り 昔床しい珍談 (三) (靜岡教育誌から)

窓より朝の朗らかな太陽の光り。それは先生の動作によつて決り込こんでゐる、刀は其れに反射して物ごとく輝いてゐる、或る者は其れを見手をたいて喜んでゐる、一同は始業の鐘の鳴るのをいままゝとまつてゐる。鐘が鳴るとさしもさわがしかつた教室も水をうつたやうに靜まつた。試験委員の重任にある一同は今や選任の先生が教室のドアを開けるや否や一齊に試験官一同の目は先生の顔に注がれる此瞬間に於て第一試験は終るのである。

(先生の顔色によつて合格不合格決定) 第二試験が續いて行はれ

尊徳先生の遺法 (三) 古屋安定

右同斷報世話人勸方目錄 意可申候事

一耕作出精奇特人入札、壹番札に相成御褒美金、並農具被下置、其外無利足金御借付、御取立御下置候報徳爲加御取立、諸向取善、世話人勸方に屬し相勤、善を移し、一人も多く取立可申候事

一右同斷報世話に相成候者御褒美金、並農具被下置候報徳爲加御取立諸向取善、世話人勸方に屬し相勤、善を移し、一人も多く取立可申候事

一右同斷報世話に相成候者御褒美金、並農具被下置候報徳爲加御取立諸向取善、世話人勸方に屬し相勤、善を移し、一人も多く取立可申候事

右同斷報世話に相成候者御褒美金、並農具被下置候報徳爲加御取立諸向取善、世話人勸方に屬し相勤、善を移し、一人も多く取立可申候事

一右同斷報世話に相成候者御褒美金、並農具被下置候報徳爲加御取立諸向取善、世話人勸方に屬し相勤、善を移し、一人も多く取立可申候事

一右同斷報世話に相成候者御褒美金、並農具被下置候報徳爲加御取立諸向取善、世話人勸方に屬し相勤、善を移し、一人も多く取立可申候事

破法として當時松山中学生間に流行したのは次のやうであつた。學期も末になつて来て試験日が發表されると、今まで働けた報酬として苦しが一度に押しよせて来る。さあ大變と一生懸命に教科書と首尾を始める、二時間たつても三時間たつても少しも進行しない、いくら頭をあちらこちらとひねつても判らない、そこで友人の所へ走る。やつぱり判らぬ、さうしてゐるうちに試験日が近づく、學校での連中も閉じて合はぬ。そこで最後の手段を講ずるべく、教會が開かれる。發起者の一人が立つて曰く、明日先生(試験を課する先生)の時間になんとかしてこの邊を見てくれればよいから云はせようぢやないか。一同……(つゞく)

田方貳拾九町八反三畝拾步 畑方五拾町四反九畝七步 立出壹町七反九畝廿八步

一耕作出精人入札之事 一家數六拾壹軒

三拾壹軒 是者寛文十戌年御改後遺々潰退轉之分引 殘家數三拾軒

内 伊兵衛 壹軒 是は極難困窮人當時老衰に及之渡世相成候儀に付引 殘家數貳拾九軒

市右衛門 壹軒 是者御趣意に基本業致出精方差支無之候付入札相除 殘家數貳拾八軒

此分難困窮方取直入札人名前左之通(人名略)

耕作出精人入札開封之事

新左衛門 甚左衛門、善吉、豊藏、與惣兵衛、三之助、善兵衛、新兵衛、周吉、淺吉

二番札 (投票者名略) 三番札 與惣兵衛 四番札 熊吉 五番札 三人

右者當御知行所村々、連々人少致困窮、既に退轉亡所同様難相、無余儀去の文政五年以來、荒地起返窮民撫育、入百姓人別増、借財返濟、募方御取直、村柄舊儀之御趣法被仰出、凡貳拾有餘年之間御取直被下置、荒地有増起返り、米麥取増、其潤澤を以戸數人別年々相増、可致古復之處、去々辰年、直り、可致古復之處、去々辰年、去已年兩年之違作に付、萬一手戻り無之候格別深以思召、孝行奇特人は勿論、兼々本業致出精、心掛宜敷、往々募方取直、村内手本に相成候善人を見立、少も無依怙最良、一村限致入札、奉差上候は、高札より夫々爲御褒美、夫食農其被下置、其上募方爲御取直、報徳善利無利五ヶ年賦御拜借可被仰付候御仁惠之次第、御細御意に基、村役人は勿論小前未々迄、壹人別致入札奉差上候、今般御開封被下置、前書名前之通聊相違無御座候以上

弘化三丙午年四月十六日

御役所様

名 同 善兵衛 與惣兵衛

東沼村之内境組 高六百三拾八斗七升五合

一田畑反別八拾貳町壹反貳拾拾五步

東沼村之内境組 高六百三拾八斗七升五合

一田畑反別八拾貳町壹反貳拾拾五步

講演

主 催 橫濱商工會議所
橫濱工業協會
橫濱商業振興團體聯盟

國際聯盟と滿洲問題 (其の三)

國際聯盟協會主事 赤松裕之

即ち日本、イギリス、獨逸、伊太利、フランスであります。他の九ヶ國は選舉に依つて理事國となるのであります。三ヶ年の任期であります。支那は一年の九月にこの選舉に當選して理事國となつた譯であります。この選舉の際には各國共に自國を當選させたためにいづれも各國の外交團體に運動をしなければならぬ。その激しい競争に勝たなければならぬ。理事國であるに、それを加へて入るに第三國をオプザーパーとして入れるのであります。から、聯盟自體の組織から言つても、實に不合理なことであると思ひますが、兎に角アメリカと云ふ國は、日本に對しては非常に有利と云ふので、遂に無理に引入れさせました。さうして今度は和協委員國としてロシアをも入れ、さうして、とうとう和協委員國は成立を見なかつたのであります。さうして最後に出來上つたのが規約第十五條第四項に依る勸告案であります。所がその勸告案の内容を見て更に驚ろいた、我々はこの勸告案が發表されるまで、まあ少々不利の點があつても、大概のことは目を閉じて頷いて、済ませたらよからふと云ふ風に考へて居たのであります。所が、この勸告案の内容は實に日本を侮辱したもので、到底我々日本人として黙して聯盟に加入して居る譯に行かなくなつたのであります。聯盟を脱退すればどうなるか、日本としては聯盟を脱退して何等具體的利益はないのであります。却つていづれと外交上には不利益を生じて來ます。でありますから、なるべくなら勸告案の内容が少々不利でも加入して居る方が、國際的利外交、經濟總ての點に於て有利であるのであります。而して聯盟を脱退しても二ヶ年を経過しなければ脱退の効力を生じない、その間は脱退して居ても、加盟して居てもその負ふべき義務には何等變りがない、然らば二ヶ年経てば東洋に於て自由日本は戰爭が支那に責任がないと云ふやうな

ことを書いてある、而して日本の滿洲に在る兵隊は鐵道附屬地まで引揚げて貰ひたい、その後支那の主權に服する自治體を創る、さうして、事件解決のために日支交渉を續ける、和協委員國の監督の下に交渉しろと云ふのであつて、もう一つ最もいけないのは先刻お話しした、スチムソン主義を執つて、お互に加盟國は滿洲國を認めないやうにしやうと云ふ申合せをして居る、單に承認しないの援助をしないやうにと云ふ申合せをして居る、このやうに日本を侮辱した、勸告案を、吾々は如何にして黙して承認することの出來たのであります。併し今度の勸告案の發表される以前、イギリスの、サイモンと云ふ外務大臣が日支和協のため非常に盡力してくられて居るのですが、サイモン卿が英本國に歸られて後聯盟は急硬化して來た上更に上海事變、熱河問題等に依つてこの最後案となつた譯です。此の勸告案は日本が承認しない場合に加盟國の申合せは果して日本にどうなる影響を及ぼすか、この申合せが果して有効なるものであるか、どうかと云ふ問題が起るのであります。法的効力に就ては疑問であります。滿洲國が加盟國に依つて承認され、滿洲國が加盟國に依つて承認され、四年の中にはあるまいと思はれる、假に今後滿洲國が健全に發達し新國家としての實質を備へて來たとしても、聯盟が折れて出て日本に再び加盟してくれ、その代償として滿洲國を承認することと云ふやうな、餘程いい場合でない限り各國が滿洲國を承認することを出来ぬであらうと云ふことを豫想し得られます。現にアメリカはロシアを承認して居りませぬ。一國だけ承認して居るに過ぎない。大部分は日本に物品を買つて貰ふ方が多い、即ち日本に對して輸出國で、商人で言へば、大事業得先であり、此等の國々が支那の爲めに全部氣を揃へて大切な得先を自分の方から斷つてしまふと云ふことも考へられ

ないことではあります。そこでやればイギリスであり、アメリカであり、フランスであり、ドイツであり、イタリアであり、日本が愈々聯盟を脱退致しますと、今私が申し上げましたやうな、いづれかの事象が生じて來ると思ひます。外交孤立、經濟孤立、交通、貿易の孤立と云ふやうな空氣の中にあつても、精神的にはどこまでも日本は世界的に發展して行かなければならぬと云ふことを強調して本日の講演を終ります。(終り)

本會常務理事會
五月一日午前十時から常務理事會 講演等あり頗る盛況であつた、縣開催、懸賞論文當選者氏名の發表 教育會より高城主事出席。

愛甲郡教育會總會
愛甲郡教育總會は同郡厚木小學校で四月三十日開催、勸導教員表彰

ふ意氣を持つて、努力を續けて行つて、滿洲國視察員の詮衡其他につき協議する所があつた。

青年國語讀本

神奈川縣教育會編纂

本郷郷土の青年と文化とにピツたり
合つた最良の國語讀本!!

一、郷土に關係ある古來及び現代に亘れる文學的諸種材料、知名の作者の作品を採擇精選したること。
二、青年心理に合致し、修養にも好資料ならしめたこと。
三、現代文のみならず古文にも涉り、文種は多方面を網羅し、俳句、和歌、書簡文、詩をも併せ、上品な諸種作品をも盛り文未餘白には漢詩其の他朗詠や趣味に適切な作品を置いたこと。
四、文の理解を援け趣味を深からしむるために挿繪類を力めて多くしたること。
五、全巻を通じて日本精神の發達の過程の明かなるようになり、日本精神の涵養指導を重要視し、國語を通じて日本人たるの美質培養に資したること。
六、每巻約百二十頁内外とし、一學年間に必ず學習し終る紙數として次の様にされ

卷一……後期一學年用 卷二……後期二學年用
卷三……後期三學年用 卷四……研究資料

青訓用から言へば、各年次毎に一卷宛學習が出来る。
更に青年學校令の實施を見た場合にも、勿論等しく用ひるに十分なる用意を以て臨んである。

紙質や活字に於ては、夜間學習の視力の點にも考慮が拂つてある。
上欄の頭註は簡明で學習に利便である。

郷土に於ける絶好の青年國語讀本
として推奨するに十分である

發行所 橫濱市中區蓬萊町二ノ三〇 神奈川縣中等教科書特約販賣所

婦人家庭欄

第四景

修學旅行(花の吉野山) (二)

女教師二十景

高女の五年生
「竹林院の春も、已に十分だらうと思ひますが...」

「正行の...」
「と、塔の尾の御座るね」

M 生
「何を御存じ、さういふ考へて...」

「オ、U子さん」
「T先生、終に廣間の人となつた...」

「さうか」
「T先生、A先生と、終に廣間の人となつた...」

「何れもA先生」
「西行庵の『とく』の清水...」

尾上は二十二歳、ふぢ女は二十一歳...
「さういふ散り果てました...」

紅蘭女史の書翰がありまして、どれも「お話し申上げたいものばかりで御座います...」

或る座談會 K 記者
古人(女性)の書翰について

作法

用具のあつかひ方

一、碁盤、將棋盤
A すゝめ方
先づ碁盤を正して据ゑ、其の上...」

A 立て方
碁盤を立てるには、大きいものは二人で相向つて持ち上げ、適當のところで進み、静に、押へながら、真直に立て、さて、二人同時に、中央から、表を一つ開き、次に裏を、一つ開き、表、裏、々々と、次第に退き、開き、開き、開き、開き、二人とも正面に出て、位置を正す。

B 撤し方
二人に進み出で、よき程の所に、置き、主客の間から、盤を手前に引き、すゝめる時と同じ持ち方で撤す。

B 閉ぢ方
閉ぢ方は、二人ならば、上座と下座から、同時に中央へと疊み行き、キツチリと合はせ、始めの如く、一人の場合は、上座の方から、段々と下座の方へ疊む。

屏風は、二曲、四曲、六曲、八曲、十曲、枕屏風、風呂さき屏風、髪掛け小屏風、籠屏風、書屏風、扇の屏風等、多くの種類を數へる

山葵
山葵葉の艶に溪水しげきけり
もげ落ちし山葵葉舞へり岩清水

俳句
春色
春色や磨きかける乗馬靴
野も山も春色動く人出かな
春色や帆風ながや湖の面

白幡一燈
芥沘池の浅みにおたま哉
畦行く子蝸蚪の唄に列なせり

蛙
溝筋の凹みに溜まる蟬蚪哉

お寺だわね
「ア、あれ「かへらじ」との
廣縁に立つてゐたA組のN子が、
突然大きな聲を出したので我に返
つたT子は、
「どれ」

勤勞教育の道場

自給自足の農学校視察記

草野 徳義

四月十二日愛知縣岡崎市にある、所謂自給自足の農学校（愛知縣立種畜場）を見学した。本場は今日全国に農校問題として知られてゐる。横尾惣三郎氏の愛知縣在任中の計画によるもので、この自給自足の農学校は第一強い精神力に缺けてゐる現在の農業教育を革新し、農村更生の基礎を培ひ、第二に今日の形式的非實際的な興味中心の軟教育を廢して、飽く迄勤勞努力を生命とする硬教育を施し、農村再生の意氣に燃える熱と力を有する農民の養成を目的としてゐる。本場は岡崎市の東方一里、愛知電鐵美合驛下車驛前の一帯の丘陵地約六十町歩がこの敷地である。見渡す限り廣々とした林地で松の緑の中に櫻花が霞の如く織り混した春景色は實に青年修養の道場として得難い天恵地と感

じた。松林の内に點々と散在する建物の数は大小凡二十數個で建物敷地は約三町歩と云はれてゐる。敷地に續いて廣々とした耕地がある、此農園は本場の實習生が數年間に渡つて汗と膏によつて築かれたもので約二十町歩に達してゐる。しかしまだ未開墾地は四十町餘あると云はれてゐるから實に廣大なる敷地である。自給自足は名のみにてなく昭和七年度は豫算三萬數千圓の經費を自給自足の特別會計で立派に遂行されつゝあることは、他の府縣の試験場や學校に於ては見る事が出来ない。本種畜場の沿革は大正十二年陸軍省愛知種馬所の敷地並建物敷地を無償交付を受け、種畜場として種畜の改良繁殖、有畜農業經營、農村青年の養成等の事業を開始し、家畜の中でも特に乳牛、豚等の優良種の繁殖を主とし鶏は分場に於て飼養され本場には僅

は非常に多數に上つてゐると云ふ。實習生の日課は起床五時半（冬季は午前六時）で炊事は當番制で毎日三人がこれに當つてゐる。起床後三十分以内に寄宿舎の掃除整頓、洗面等をなし午前六時には場内松林の中にある神苑に集合し朝の禮拜を行ふ、この時は場長を始め職員全部が集合して二、三十分間皇國運動を行ふ。職員全部場内に官舎の設けあると雖も午前六時から出勤する役所や學校が全國の何處にどれだけの教育に對して如何に眞剣な態度で當つてゐるかが窺はれる。

寄宿舎は監室が當てられ炊事場や食堂は窓一つない簡単なバラックで牛舎や豚舎の方が立派である。午前七時から全日實習に従事するが一週水曜日と土曜日は四時間づつ、學科を學ぶ規定になつてゐる。他は晴天は耕し雨天は讀書主義である。學課は修身、農民道、畜産學、有畜農業經營法、家畜衛生、米麥作、園藝、農産加工、測量學、農具、土壤肥料、養蠶、飼料作物栽培、手工（木工、金工）等である設備には精製製粉器や農産加工用器を有し又木工場鍛冶工場等を有してゐることは特に目立つた設備である。實習生は鐵、鎌、大工道具一揃へを全部新調して所有してゐる。全部自分で作るやうに訓練されてゐる。従つてやがて、家庭に歸する時は大工道具を以て立派な大工の働きが出来るやうに鍛へられる。

實習には最も重きを置き農場即教室であつて總ての作業に徹底的に服せしめてゐる。午前七時から正午迄には十五分位の休憩時間がある以外は殆ど休みなしである。丁度當日農場の案内を受けた時は午前の休憩時間中であつた、廣々とした麥畑の中に點々と白シャツツ一つになつて勞いてゐる實習生が牛の傍に林の影に憩つてゐる様子は、さながら泰西の名畫其の儘であつた。場長の話しによれば實習生は入

場後一週間位で今が一番空腹を感じてゐる時でことに規則的な勞働に不慣れ困つてゐる生徒が多いとのことであつた。如何に本場の實習作業が猛烈であるかは終了生が軍隊に入隊した時、總ての者が軍隊の骨が折れると聞いたが種畜場の實習から比較すれば、半分の比でもない云つてゐる。一事によつても其の程度を察することが出来る。しかしこの作業が單なる土工や、人夫の仕事と同じでない事は申迄もない、特に畜産に對する技術から園藝作物の栽培に到る迄、農學百般に亘つて徹底的な實務に服するのである。西瓜の如きは昨年は一町二反

を栽培し梨八反歩、桃五反歩を有しこれ等の集約的農業も一人の人も入れず五十名名の實習生で總て實施せられる、數百坪のフレイムには數萬の茄苗、トマト苗、南瓜苗が養成されてゐた、多くの畜産専門家家の飼養や繁殖には成功するも農業經營上の畜畜を知らないものが多い、有畜農業をはじめも鶏が立派に飼育出来るやうになれば鶏のみに立とうとして多くは經營場の經營の如きは眞に農業經營の上から眺められた畜畜であつて合理的に實施されてゐる點は實に感心の外ない。(つゞく)

世界教育聯盟會議 出席者募集

世界教育聯盟會議 出席者募集

隔年に開催されて居る世界教育聯盟會議は本年七月二十日九日より一週間ダヴリンに於て開催されます。よつて本年度も右出席者を募集致します。今度は左記の旅程により米國及歐洲各國を視察及見物する豫定であります。従つて經費の如きは今の處一金五千五百圓位（小遣及米國に於ける食費全部、歐洲に於ける食費は含まず）の見込であります。語學の心配は勿論ございませぬし、色々の便宜も御座いますから、希望者の方は振つて御申込を願ひます。出席者は本會より旅費の一部を補助するに相成つて居りますから申添へます。(御希望の方は至急問合せられたし)

Table with columns for dates, departure times, and destinations. Includes entries for London, Paris, and other international locations.

Table with columns for dates, departure times, and destinations. Includes entries for Berlin, Rome, and other international locations.

本縣主催として中等學校研究指導會を開催するが、本年は丹澤山を中心地理的實地踏査研究をすることになり、極めて獨奇的な

趣味深き學術的なものである。講師は東京文理大學助教田中敬師先生である。日程によると五月二十八日、午前九時平塚驛前集合、同驛より秦野町に、秦野盆地研究一午後一時西田原より登山、四時煤谷村札掛分教場着指導講習宿泊。二十九日、午後七時出發、塔ヶ嶽を経て丹澤山着、午後五時半諸子平着、宿泊。三十日、午前七時出發、支倉神籠を経て午後二時半山北驛着解散。行程約十三里半

校長伊東泰治氏逝去

三浦郡葉山小學校長伊東泰治氏は去る四月四日腦溢血のため突然永眠した。行年四十五歳。氏は明治四十三年本縣第二部卒業、三浦郡西前小學校訓導を振出しに横濱西前小學校、三浦郡葉山の訓導を経た。三浦郡葉山小學校校長に拔擢せられ、以來西浦浦賀の校長をつとめて葉山小學校校長に榮進今日に及んだものである。春秋に富む氏の逝去は本縣教育界の前途にとり多大の損失である

中等學校地理科實地踏査研究指導會 本縣主催

本縣主催として中等學校研究指導會を開催するが、本年は丹澤山を中心地理的實地踏査研究をすることになり、極めて獨奇的な

新刊圖書介紹 農業學校長協會編 農村を更生する人々

我國極度の不況難と疲弊困憊を打開すべく、自力更生の聲は都鄙をあげて盛に唱へられ、特に農村の更生振興は急務の急務なりとして、官民その勢力を傾倒しつゝ、あ

旅 程

Table with columns for dates, departure times, and destinations. Includes entries for Hanko, Yokohama, and other domestic locations.

Table with columns for dates, departure times, and destinations. Includes entries for London, Paris, and other international locations.

Table with columns for dates, departure times, and destinations. Includes entries for Berlin, Rome, and other international locations.

發行所帝國地方行政會 藩學寺小屋教育と現代教育 (定價七拾錢)

本會の内容をみるに、氏が官城縣在職中、教育調査會事業として蒐集資料を根據となし、藩學寺子屋教育に起筆して、現代の實情に批判を加へ、教育行政、視學、教員等の人事に至るまで、視學、行政としての廓大鏡に映した同情熱愛、改造、創見に富みたる一讀爽快痛烈な教育所見誌として教育關係者の必讀書である。

石野 瑛著 神奈川縣郷土史讀本



俳句漫談 (一)

豊岡校 岩田紅一

題して俳句漫談といふ、机邊の句集より手あたり次第に拾ひ出す、古今の句、さては手まへ味増の甘からざる自分の句なぞとりまての謂所、漫談、諸君のお肩がこらない程度にゆけば、お慰み、サア、鐵児きりりと締めよ花吹雪

靖國神社の臨時大祭に新に護國の神と祀られし千七百の英靈に畏くも御親拜の聖恩のかたぢけなさを思ひ、我等は八千萬の同胞と共に、日本の櫻のいさぎよくも散りゆく花吹雪を浴びて先づ、鐵児の緒を締めて大地に立たう。

井の端に吹き亂れる八重山吹山家住の氣安さに、明日食ふ麥をままして清い水にひやしてあるのだ。

黒い土をもたげる獨活の芽を夕餉の膳にもと狙に洗へばひし／＼と春の色と句の迫力を見る。

拾ひ残す田螺に月の夕哉 蕪村 ぶつ／＼と大なる田螺の不平かな 漱石 亡き姉とともに田螺拾ひに行つた幼な心が蘇る。泥足をめぐる田の水もいつしかぬるんで居る。

動き出て蟹紅や春の水 橋泉 青竹の筏下すや春の川 愚佛 ふと眼を上ぐれば、いさましい揚雲雀 啼き／＼も風に流るゝ雲雀かな 孤屋 點々と畑打つ人もなつかしい 畑打や耳うちとき身の唯一人 畑村 畑打や峰の御坊の鶏の聲 同 鶴見の三ツ池あたり杖を曳けば、 春の池ボートに乗せし女の子 坂下りて花菜明るし一とと 紅一

して居る、個性教育の要はこゝにありかおつと少々堅くなつた。 粽結ぶ片手に挟む額髪 芭蕉 錢ならす秋も涼し 蒲蒲 菖蒲湯や菖蒲寄せ来る乳のあたり 白雄 なんといふ奇麗な句だらう、こうした句は女先生たちの俳句に親まるゝ方の得意とさるべきところであらう。壯年の武

俳句欄復興

時報となつてからしばらく姿をかくした俳句欄をこゝに復興して、あまねく天下の教育者否この時報に目をふれ給ふほどの諸賢の共鳴を待つ。遠足に、旅行に、晩春初夏の詩趣頻りに動く時振つて御投句あらんことを。 その選者は数ヶ月交代で本縣に縁深き先生に次々と御願ひすることとした。 その前座を快諾されたのは

鶴見の 綠庵 岩田紅一先生

である同氏は、縣下で俳句を語る程の人は既に御存じの通り、鳴雪翁に師事し小波先生に親まれ俳界にあること、三十年、目下、横濱市豊岡小學校長の職にある仁、我等は同職中の先生が進んで前座を引受られし雅量よろこんで續々投句あらんことを切に祈るもの也。

武相俳壇募集

- 一、課題 若葉 初夏雜詠 通題 五句吐
- 一、選者 岩田紅一先生 五月十五日
- 一、發表 五月二十五日發行本紙上 三光 選者揮毫短冊
- 一、賞紙 官製はがき縦書
- 一、宛所 横濱市豊岡小學校 岩田紅一

山から見下せばそここゝと翻る。 へる五月職よ。 本隠れて名譽の家の職かな 蕪村 小職のこつそり暮るゝ職かな 一茶 初職こゝに日本男子あり 鳴雪 それ／＼に作者の個性が躍動 秋色

末吉の牡丹、大船の芍薬もちきに咲き出づる頃となる、その花の中に立つ、先生たちよ小學校の教科書中にある俳句をあぶななしい解釋をして感心の強制をする冷汗を拭つて俳眼を開こうではないか、そこには決して蝸牛角上の争もなければ、五月雨の空の如き幽鬱もなくなる。すべからず十七字詩といふ世界最短詩型を持つ日本獨特の風韻を悟入し給へ。

牡丹散つて打重りぬ二三片 蕪村 閨王の口や牡丹を吐かんとす 同 不動畫く疎麻が庭の牡丹かな 同 牡丹折りし父が怒ぞ懷しき 大魯 芍薬の蕊の湧き立つ日南かな 太祇 丸々と芍薬青き苔かな 荻堂 遠足のボケツトに句帳をしのばせば若葉の郊外のスケツチ句はいくらでも出きる、歸校してのお互の天狗の鼻合せも一興であらう。

年寒し若葉の雲の朝朝 其角 不二ひとつ埋み残して若葉哉 蕪村 山に添ふて小舟漕ぎ行く若葉哉 同 葉櫻や寺中の人の聲ばかり 同 若竹や数もなき葉の露の数 希因 精出して職げ若竹今のうち 太祇 天晴の大若竹ぞ見ぬうちに 同

落葉拾

起上小法師

起上小法師はすばらしいな！私は何時とも思ふ、如何なる方向に投出されても、不平も云はず不満も云はず、投げ出された方向に於いて、自己のベストを盡してむつくりと起き上り平然としてゐる。――與へられた環境、與へられたコンディションに於いて自己をよりよく生かして行く――あの徹底した生活態度、私はたまらなく好きだ。 新任の先生に私の好きな起上小法師をマスコットに送り教育道への御精進を祈る。 (都筑 新治無名子)

東京音楽校内 日本教育音楽協會編纂

最新刊 小學唱歌教授指針

全一冊 定價 金六拾錢 送料 金六錢 判 菊百五十頁

新尋常小學唱歌・新高等小學唱歌及び文部省新訂尋常小學唱歌・文部省高等小學唱歌の歌詞歌曲の説明 君が代・勅語奉答の歌ひ方 東京音楽學校教授澤崎定之先生 東京音楽學校教授船橋榮吉先生 東京音楽學校教授澤崎定之先生

內容の書本 小學唱歌發聲法 小學唱歌指揮法

新尋常小學唱歌 全六冊 文部省檢定済

定價 各冊 金拾貳錢 送料 各二錢

新高等小學唱歌 全二冊 文部省檢定済

定價 各冊 金拾五錢 送料 各二錢

新尋常小學唱歌伴奏及解説 全六冊 定價 各冊 金拾六錢 送料 各二錢

新高等小學唱歌伴奏及解説 全二冊 定價 各冊 金拾七錢 送料 各二錢

エホンシヤウカ春夏秋冬の巻 定價 各冊 金拾五錢 送料 各二錢

子供の舞踊 卷一・二 低學年用各六拾錢 送料 各二錢 卷三・四 高學年用各金一圓 送料 各八錢

神奈川縣教育會編纂

新訂高等小學商業教科書

上下各冊 定價 三拾八錢

舊商業教科書改訂の要望は、時運の推移と共に其の聲を高め、昭和五年頃には縣教育會も此を必然の事と認め、爾來、縣内各都市から調査委員をあげて研究を託し、最近に於いては重ねて横濱市商業研究調査部の意見を聴取して参考に收むるなど、約四箇年間練りに練つて實改廢次に及び、茲に今回の完成を告げたものである。

商業知識は固より複雑多岐洪範である故、教授上に於いても頗る多難の教科なれば、之れが教科用書としての使命は教授の活動を便益する一面兒童に研究の好指鍼を齎らすを理想としなければなるまい、今左に本書の 特色 とする數點を列擧すれば

- △内容 は廣く商業運營の最新機構に順合する點に於いてその嶄新を誇るに足る
- △程度 は漫然學說學理に偏執するをさげ、實際實務に精通せしめん事を旨とした
- △組織 は兒童の自營的建設に基礎つけて、陥り易き注入講演教授の弊を緩和した
- △文章 は簡明平易の中に、雅韻を帯はせ借働難解の用語は勉めて之を遠ざけた
- △郷土味 を豊かにするため、横濱を主眼に資料を採擇した事はかの全國版ものに比べて大きい異彩である。
- △意匠 は明朗性に富みて氣品の高き事春頭萌え出る若草の如き概がある。
- △紙質 は堅靱に意を用ゐる活字は鮮明に印象の和やかさを欲した。

發行所 横濱市中區蓬萊町二ノ三〇 國定教科書特約販賣所